

日本財託グループ ファミリーネットJと連携 ネットサービス多言語対応

ットサービス。

日本財託グループがオーナーへの導入提案を行い、ファミリーネット・ジャパンが回線提供、設備導入、保守運用、入居者サポートを担う。オーナーは初期費用なし、ラニングコストのみで導入できるため、導入ハードルを抑えながら、物件の競争力向上を図ることができる。

日本財託グループ（東京都新宿区、重吉勉社長）は、ファミリーネット・ジャパン（野本修司代表取締役）からOEM提供を受け、全戸一括インターネットサービス「Beans Net」の提供を開始した。同サービスは、物件単位でインターネット環境を導入し入居者が無料で利用できる全戸一括インターネットサービス。従来、オーナー自身が個別に行う必要があった工程も同グループが窓口となることで、手間を軽減する。入居者向けには、専用ダイヤルによる24時間365日のサポート体制を整備し、英語・中国語・韓国語での多言語対応も可能としている。

2026年7月13日 週刊住宅 8面